

# 在庫管理成熟度・問題チェックシート

記入日 年 月 日

会社名		名前	
-----	--	----	--

## 在庫管理成熟度診断

現在の自社が該当すると思う、成熟度レベル1つに○を付けてください。

成熟度 レベル	在庫管理成熟度レベルの達成内容
0	現品保管は3S(整理、整頓、清掃)がなされておらず、在庫把握は棚卸でのみ行われており、決算にのみ利用している。
1	現品管理の3Sが徹底できていないため、入在庫や棚卸の作業効率や作業品質が悪く、スペース効率も低い。
2	現品管理の3Sは徹底しているが単品レベルの商品コードが整備されていないため、在庫データ(品目や数量、場所等)を把握する手段が無い。
3	全ての在庫に対して、商品コードは整備されており、帳簿在庫は単品レベルで日々出入庫を実施しているが記録の漏れやミスが多く、帳簿在庫の精度が低い。(棚卸差異率が2%超)
4	帳簿在庫には現品の保管場所、出入庫担当者、出入庫日時が記録されているため、在庫差異発生の原因追及が可能となっている。
5	在庫管理はルール化されていて、在庫はシステムで把握できる。帳簿在庫と現品はほぼ一致しているが欠品や過剰在庫が頻繁に発生する。
6	在庫管理で蓄積したデータは関連部門で共有され、在庫管理の日常業務の効率化や改善に活用されている。
7	システムに蓄積されたデータが在庫分析や適正在庫マネジメントに活かされており、欠品や過剰在庫が少ない状態が維持できている
8	適宜、在庫基準の見直しを行い設定した在庫の削減目標を達成している。
9	データを使って客観的な観点から、会社全体の仕組みを戦略的に見直し、仕入から販売までのSCMの最適化を図ることができている。
10	データを使って、戦略的に取引先への交渉やお客様への提案が可能のため、売上アップや利益を高めることができている、自社を中心としたSCMシステムが確立している。

# 在庫管理成熟度・問題チェックシート

## 問題チェックシート

当てはまると思う問題の内容があれば、全てに○を付けてください。

N ○	当てはまる	問題の内容
1		滞留在庫、または不良在庫がある
2		在庫を捨てることが多い、または値下げ（処分）販売が多い。
3		売上に対して在庫量（在庫金額）が年々増えてきている
4		一部の担当者だけが在庫の場所を把握していて聞かないとわからない。
5		置き場以外のところに在庫を仮置きすることがある。 または元々置き場が決まっていない。
6		品物を取り出す時、他の品が邪魔で入れ替えや移動が頻繁に行われている。
7		在庫の奥に別の品物が隠れていることがある。
8		在庫の入庫・出庫は現場任せになっている。
9		仕入れや生産は、ルールや基準が無く担当者や現場の経験と勘で決めており、個人判断に任せている
10		入出庫の際に在庫管理システム（エクセルの場合は共有ファイル）に入力できておらず、あとからまとめて入力している。
11		担当者が独自にエクセル等で数量管理をしているものがある。
12		在庫に品番（商品コード）が無い。または、名前のみで管理をしている。
13		在庫の種類と数が正確に把握できておらず、現場で現品を確認しないと不安。
14		月に1回以上、棚卸や在庫数量が合っているかどうかを数えたり、確認したりしている。
15		在庫のデータと現物の数量が合わない。（棚卸差異率（帳簿数と実際に数えた数の差異）が2%以上が目安です）または棚卸差異率を知らない。
16		保管スペースが乱雑で取引先やクライアントに自信を持って見せられない